



ホームの前のつつじも少しづつ咲き、春の暖かさを感じさせてくれています。

皆さま方におかけましては、いかがお過ごしでしょうか

みのりほーむが誕生し、4年が経過しました。

利用する人達の生活もだいぶ充実し、休日に行きたい所の計画を立てたり、やりたいこと買いたい物も増え、一人一人がかしこまらずに生活ができるようになりました。

これも皆様方のご支援があるからだろうと思います。ありがとうございます。



新年度がスタートし、少し経ちましたが今年度も利用する方々の自立に向けて職員一同、きめ細かい支援につとめていくつもりですので、ご協力をお願いいたします。

理事長 立田芳弘

皆さま、はじめまして、この4月よりホームの管理者を担当させていただくことになりました川嶋聡一です。“はじめまして”…私のごことをすでに知っておられる方もいらっしゃると思いますが、あえてこの言葉を使わせていただきます。この言葉には新鮮な感じがありますね。

3月まで3年間さぼーと ピースで就労支援を行ってきましたので、大袈裟に言えば心機一転新たなチャレンジのはじまりといったところです。

利用者の皆さんとはすでに交流のある方々がほとんどなので、これからも楽しくコミュニケーションを取っていきたくと思っています。

利用者さんがグループホームで生活できて良かったと感じられる、そこまで強く実感しないまでも何となく日々の生活が“楽しいなぁ”と思う環境づくりをしていけたらと思いますのでよろしくをお願いいたします。

みのりほーむ管理者 川嶋聡一

新年度が始まり、気持ちも新たにホームの利用者さんたちの自立に向けがんばっていきたくと思っています。

まずは、日曜日の皆さんが揃う時に一緒に買物に行って簡単な料理を作ってみたり、お天気の良い日にはハイキングしたりしてみたいと思っています。

みのりほーむ世話人 大島芳江

健康が第一。桜、チューリップ、青空、心地良い風、外にでて美味しい空気を胸いっぱい吸い込みながら歩くのがとても気持ちのいい季節となりました。

みのりほーむの皆様に身体を動かすこと、歩くことの楽しさをわかってもらえるよう取り組んでみようかな、と思っています。

みのりほーむ世話人 森 政雄

みのりほーむ

みのりほーむ2

3月25日(日曜日)、消防署(角来出張所)の立ち会いをお願いし、避難訓練を実施しました。火災報知機の「家事だ!」の合図とともに、2階の人は非常階段から、1階の方は玄関から避難先の小林クリニックの駐車場まで歩いていき、到着後点呼、確認報告と順調に行動できました。



避難後、訓練用の消火器の操作を一人ずつ体験しました。

①ピンを抜く、②ホースを火元に見立てた三角柱にむけ、③レバーを握るといった一連の操作に手間取る事が多く、良い体験をしました。

訓練を終わって、消防署の方から、一度ではなかなか身につかないので、いざというときに役立つようこれからも訓練を繰り返しておこなってくださいといわれました。

